

## 2026年度スサノオアイズ始動 ～笑う内藤先生～

新しいスタッフも加わった4月、そろそろ練習しなくっちゃね…。という事で早速体育館を予約、しようとしたら空いているところがなかなか見つかりません。なんとか4月25日にサンアビリティー出雲に空きを見つけて予約をしたのですが、この日は皆さん都合が合わず、練習に参加できたのは市岡先生と新しく眼科に加わった和波先生、内藤先生、そして私（海津）の4人だけでした。その分、ゴールボールは初めてという和波先生、内藤先生にディフェンスの仕方やボールの投げ方など比較的丁寧に伝える事ができたので、結果的には良かったかもしれません。そして二人とも初めて触るゴールボールが意外と重く、当たったら痛いという事に早速気づいてしまいました。大丈夫、慣れます。

基本動作を習得したところで、実際に転がるボールを止める練習をしました。反対コートから市岡先生がかかる～く投げたボールをアイシェードをした状態で止めてもらいます。



手を伸ばして止めようとする和波先生

無常にもすり抜けて行くボール

コートの向こうで見守る内藤先生  
おや？笑っている？

アイシェードをすると周囲の明るさも判りません。暗闇です。その状態でボールの中に入った鈴の音だけを頼りにボールの動きを判断する事になるので、慣れないとどの辺に転がってくるのか、どのぐらいのスピードなのか全くわかりません。止められる距離でもディフェンスの体勢を取るタイミングがずれたらボールはすり抜けて行ってしまいます。ディフェンスの奥深さを感じながら練習を見守っていると、和波先生の指先をボールがすり抜けて行った瞬間、コートの奥でほぼ笑む内藤先生の姿。おや、気のせいでしょうか？もう一度別のタイミングで検証してみましよう。

めっちゃ笑っている



市岡先生、投げる

和波先生の指先をすり抜ける

よく見たら市岡先生もちょっと笑っている

(実は私もちょっと…)



和波先生、裸足で止める  
今度、体育館用の靴買いましょう

内藤先生、やっぱり笑っています。和波先生はボールに対して少し恐怖心があるようでしたが（多分それが普通）、内藤先生はあんまりボールが怖くなさそうでした。二人とも2時間の練習でかなりゴールボールの動きができるようになりました。この調子で怪我をしないように練習して行きたいと思います。